1. 事業の位置付け

事務事業名	生垣設置奨励事業										
事業担当	まちづくり事業部 みどり公園・水辺課										
予算科目	01 — 080405 — 060000	事業種類 ○ ハード ● ソフト									
<i>(</i> 0, Δ =1, T , Δ	03 基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち										
総合計画の	02 ②〈住みごこち〉 人にやさしい居住空間をつくる										
位置付け	01 1 地域の特性や景観を活かしたまちづくりを進める										
根拠法令等	緑化の推進及び緑の保全に関する条例										
対象・受益者	生垣設置者	事業期間									
委託、協働	【委託: □3セク・財団 □企業 □NPC	O □ その他 】【協働: 住民 】									
	目的・目標	事業の概要									
みどり豊かな	環境と市民生活の安全が向上しています。	みどり豊かな住みよい環境づくりと防災のため、通学路に面した家庭や新しく家を建てられる方に対してパンフレットの配布などで啓発を行い、生垣の設置に対して支援します。									

2. 事業の検証

	指	標名	個別訪問	問等によるPR沼	 5動件数				単位	件数
	説明	・算定式	t –							
活動指標①		平成	17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年月		平成23年度
	目標				700	700	700			
	実績				1, 783					
	指	標名							単位	
	説明	・算定式								
活動指標②		平成	17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年月		平成23年度
	目標									
	実績									
	<u>指標名</u> 生垣設置延長							単位	m	
	説明・算定式									
成果指標①		平成	17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年月		平成23年度
	目 標				8, 400	8, 700	9, 000		\perp	
	実績				8, 220. 7					
	指	標名	単位							
	説明・算定式									
成果指標②		平成	17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年月		平成23年度
	目標									
	実績									
進捗状況	①: 予定どおり									
進捗状况	遅	れてい	っている理由							
亚成10年	度の	主な取	組と成果							

広報紙2回掲載、戸別訪問によるパンフレット配布(松原地区462件、富士見地区1,321件 計1,783件)、緑化まつり期間中のPR 活動を行うとともに、みどり豊かな住みよい環境づくりと防災のため、通学路に面した家庭や新しく建てられる方に対して、パンフレットの配布等で啓発を行い、生垣設置者へ奨励補助金を交付した。(8件112.15m 336,450円)

平成19年度 の検証結果 A

A:成果があがった

	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事	必要性	■ 市民ニーズ ■ 事業目的の達成状況 ■ 市の関与の必要性 □ その他	みどり豊かな住みよい環境づくりと防災的見地から、市民ニーズは高いが、必要な時に情報が入手できるように、市が地道にPRしていく必要がある。	● 高
業	有効性	□ 上位施策への貢献■ 市民満足度を高める方策■ 継続による成果向上の可能性□ その他	ブロック塀等の倒壊による被害を防ぐためにも、関係課と連携して、PRを継続していく必要がある。	● 高
分析	妥当性	事業の目的、対象、内容受益者負担、補助額業務の執行体制(人員配置、業務分担)こ その他	生垣設置により緑が増加することと、危険なブロック塀 等の倒壊を防ぐ手段として妥当性が高い。	●高中の低
初	効率性	■ 業務プロセス改善による効率化の方策 □ コスト削減の可能性 ■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) □ その他	PRの方法については、従来の方法だけではなく、これから家を新築する人たちに制度を周知するために、不動産業界、造園業界、住宅展示場などに積極的に働きかけていく。	●高中の低

今後に向けた課題の分析 チラシの各戸配布によるPR方法を検証し、地道なPR方法の継続と、これから家を建て塀を設置する可能性のある、よりニーズの 高い対象へのPRも行っていく。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位:千円)

	十尺// 学术内台 学术员							(+4:11)
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		決算額	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額
				生垣設置の支援	生垣設置の支援	生垣設置の支援		
	事業内容							
財	国庫支出金	0	0	112	200	200	0	0
源	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
 内	起債	0	0	0	0	0	0	0
訳	その他 特財	0	0	225	760	760	0	0
九	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
	事業費(A)	0	0	337	960	960	0	0
	執行率(%)	0. 00	0.00	35. 10				
内	職員(人)	0. 00	0.00	0. 21	0. 21	0. 21	0. 00	0. 00
訳	再任用(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
	人件費 (B)	0	0	1, 763	1, 763	1, 763	0	0
フ.	ルコスト(A+B)	0	0	2, 100	2, 723	2, 723	0	0

フルコスト(A+B)	0	0	2, 100	2, /23	2, /23	0	0		
4. 今後の事業原	展開(担当課として	の提案)							
平成21年度の	の事業の方向性		<u> </u>	,	<u> </u>		·		
● 現状の規模で継	≝続 ○拡大して継続	・ ○縮小して	て継続 〇廃	止 〇休』	L 〇終了	〇他事業と統合			
<判断理由> PR方法を検討する	るとともに、従来の生均	≣とは異なる、最	長近の外構設備で	を考えた要綱(の検討を行って	こいく。			
	度の取組方針						·		
新しい街並みにお	新しい街並みに合った外構に対して、要綱の検討を行い、補助対象について検討する。								
課長コメント	みどり豊かな住みよい 市民に周知するととも の検討もしていきたい	に、最近の住宅							